



令和4年10月3日
NO. 10

① 今年度3回目の研究授業ありがとうございました！

本日、今年度3回目の校内研究授業を行いました。協議会では課題もいろいろ出ましたが、まずは2年生できちんと話し合い活動ができていることがとても立派でした。また普段からの子どもたちとの良好な関係性が伺えるような授業になりました。提案して下さった低学年ブロックの先生方、授業して下さいました塩倉先生、ありがとうございました。



当日のオーダーシートと併せて、宮良先生がとってくださった記録、清水先生にいただいたプレゼンデータを以下の場所に入れております。併せてご覧ください。

「01 校務」→「07 研究」→「令和4年」→「研究授業」→「2年授業（1003）」

② 講師の先生のお話

協議会后、校長室でのお話を共有させていただきます。



● 授業改善について

Q 今日の授業は、図工とコンバインするような案もあったのですが、改善するとしたらどんなことがあるでしょうか？

A そうですね。（今回はコンバインする教科が決められていたことで国語とのコンバインでしたが）図工であると、私たちの町を考える時に、文字や言葉だけでなく視覚的にも伝えることができるので効果的だと思います。あと、やはり私だったら、こ

の流れだと国語の授業を先にしますね。その場合は「あったらいいな、こんなもの」の題材でしょうか。相談するという事は協働的な学びにつながりやすいので、相性のよい題材やテーマとコンバインすることが大事だと思います。

Q相性でいうと次回の1年生の研究授業「秋さがし」などは、コンバインしやすい題材かと思います。今「夏さがし」の終わりを行っていますが意識しておいた方がいいことなどはあるでしょうか？

A子どもたちは公園に行っても、じっくりとその季節を味わうことは少ないと思います。大切なのはその時の言葉かけです。夏の暑い日と今の季節の違いに気付きやすいように、「空気の違い」や「セミの声」、「葉っぱの色」などの違いを言葉かけで意識させることで季節を感じやすくすることが大切だと思います。

また、これは場合によると思いますが、曼荼羅チャートのような思考ツールを使うのもよいかもしれません。カテゴリー別に項目を立て、夏と比較することで違いが見やすくなると思います。本校では、木の実を集めるために校内放送で呼びかけていました。そしたら京都のドングリをもってきた子がいて、また違う学びにつながっていたようです。

③ 次回研究全体会について

10月の研究全体会はあと2回開催予定です。2回ともなかなか濃い時間になりそうですが、よろしくお願いします。

● 「みらい科やコンバイン型プログラム学習について検討会」

(10月18日(火) 15時15分～)

北中統括指導主事に来ていただきます。北中先生は「みらい科」の創設や目標作成、発表の際にご助言をいただいている先生です。現在のみらい科やコンバイン型プログラム学習について質問する機会をつくっていただきましたので、現研究の疑問点など解決していく時間にしたいと思います。

● 「1年生校内研究授業」(10月25日(火) 13時半～)

今年度3つの研究授業を含めて、コンバイン型プログラム授業の特徴が少しずつ見えてきたと思います。久しぶりに中田先生が講師に来てくださいますので、現在の状況や課題を聞く機会になればと思います。1年生の先生方ご準備よろしくお願いします。

